

◆2022年6月の新刊

日本キリスト教団出版局

聖書を靈的に読み解き、「復活者キリスト」と「聖霊」の現実を解き明かす

真理の霊が来るとき

復活者キリストを証言する新約聖書

いちかわ きいち

市川喜一 著

1930年京都市に生まれる。1951年京都工業専門学校機械科（旧制）卒業。1955年京都大学法学部卒業、同大学院法学研究科入学。学部在学中、フィンランド宣教師の集会で入信、受洗。以後、文学部哲学科基督学科（有賀鐵太郎教授）の聴

講生。1956年大学院中退、独立伝道開始。59～69年、小池辰雄氏の「キリスト召団」の運動に参加、京都・大阪など関西各地、小諸などで聖書講義の活動。1986年個人福音誌「天旅」を発刊、現在に至る。「市川喜一著作集」（全29巻）を上梓。「天旅」ホームページ▶<http://www.tenryo.net>

新約聖書を理解するには、靈的な次元で読むことが必要だ。著者は「十字架されたキリスト」が示す光に導かれ、聖書を緻密かつ靈的に読み解く。ヨハネ福音書とパウロ書簡を中心に、読者を「復活者キリスト」と「聖霊」に出会わせる一冊。

四六判・並製・152頁・定価1,760円（本体1,600円＋税）

ISBN978-4-8184-1110-4 C0016

目次

真理の霊が来るとき——出会いのカイロス……宮本久雄

まえがき

第一章 永遠のいのちを「今」生きる

第二章 復活者キリストの告知

第三章 十字架された姿の復活者キリスト

第四章 初穂としての復活者キリスト

第五章 聖霊でバプテスマする復活者キリスト

第六章 聖霊の賜物としての信仰

第七章 聖霊の賜物としての愛

第八章 聖霊による復活の希望

第九章 ヨハネ福音書における「イエス」

第十章 真理の霊が来るとき

あとがき



真理の霊が来るとき

復活者キリストを証言する新約聖書

市川喜一
Ichikawa Kiichi

日本キ

2022年
6月20日
刊行予定

宮本久雄氏（東京大学名誉教授）推薦！

わたしは本書を繙いたとき驚嘆し、心から共感しました。

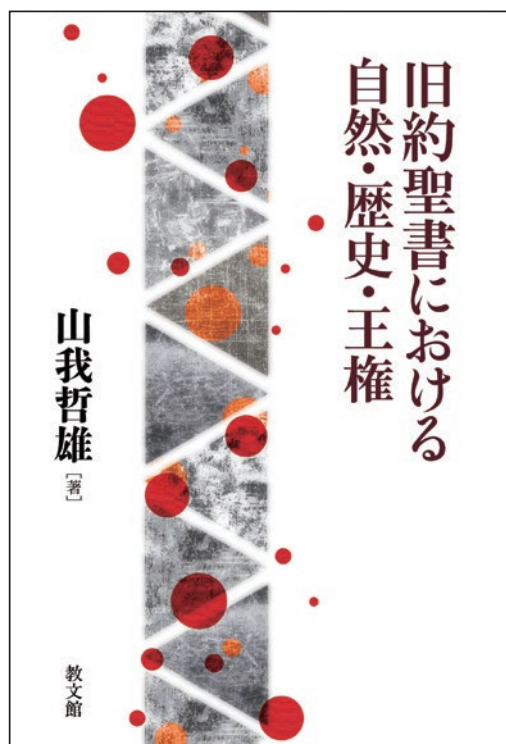
旧約聖書における自然・歴史・王権

山我 哲雄 著

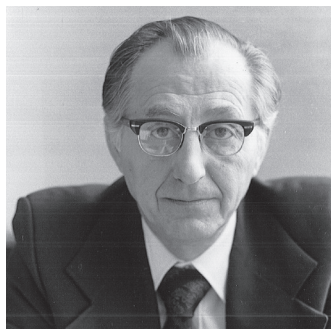
聖書解釈学の最前線の手法と実践

日本屈指の旧約聖書学者による最新の論文集。自然と人間、食物規定(カシュルート)、平和(シャーローム)の観念、申命記史書における王権・王朝の神学的理解など、旧約聖書思想と文化の根幹に関わる主題を扱う。俯瞰的視点からの概観と緻密なテキスト分析により、多様性と緊張関係を越えた旧約聖書全体を貫く観念を描き出す。

《著者紹介》**山我 哲雄** (やまが・てつお) … 1951年東京生まれ。1985年早稲田大学大学院文学研究科博士課程単位取得満期退学。北星学園大学経済学部教授を2022年3月に退任。著書に『聖書時代史 旧約篇』『図解 これだけは知っておきたいキリスト教』『海の奇蹟——モーセ五書論集』『一神教の起源』『VTJ 旧約聖書注解 列王記上1～11章』ほか。訳書に『〈旧約聖書Ⅱ〉出エジプト記・レビ記』『〈旧約聖書Ⅲ〉民数記・申命記』(以上共訳)、M. ノート『モーセ五書伝承史』『旧約聖書の歴史文学』、T. C. レーマー『申命記史書』、W. H. シュミット『歴史における旧約聖書の信仰』、R. レントルフ『モーセ五書の伝承史的問題』、R. N. ワイブレイ『モーセ五書入門』、C. レヴィン『旧約聖書』、O. ケール『旧約聖書の象徴世界』、K. シュミット『旧約聖書文学史入門』、ティリー／ツヴィッケル『古代イスラエル宗教史』ほか。



四六判・並製・220頁・定価 2,530 円 (本体 2,300 円+税)・ISBN 978-4-7642-6165-5 C0016



西岡義行責任編集 東京ミッション研究所 (Tokyo Mission Research Institute) 刊行

ノーマン・クラウス著 南野浩則訳



働きかけるイエスの福音 ——問われる宣教の変革

6月20日刊行予定

教会の宣教はアガペーによる介入である！
「人に介入し、変革をもたらす」神を、
なおも現代に語れるだろうか？

西洋キリスト教がもたらした強い確信に基づく絶対的真理としての福音宣教が、西洋文化の近代化プロジェクトにいかに取り込まれてしまったかを徹底して暴く、衝撃の自己批判の書。私たちの福音理解と宣教のあり方そのものを、その根本から問い直す預言者の希望の名著、**待望の翻訳**！



著者まえがき 訳者まえがき	第三章 宣教の概念的枠組みの新しい方向性 変革のパラダイムへの概念的枠組み 変化とその担い手 — 受肉のスタイル	権威と力 根本的な回心の必要性 変革のプログラムの特徴 シャローム
序章 支配を超えて ギリシア的二元論を超えて 概観	第四章 どのような介入なのか？ — 「霊性」の定義 どのような種類の介入か？ 霊性の定義 求められる変化	第七章 他宗教との関係 新約聖書からの戦略的な提案 神学的視点 具体的な神学的課題 実践的な視点
第一章 ポストモダンにおけるキリスト者の証し パラダイム・シフトの影響 文化的なダイナミズムに対する新しい理解 コミュニケーション過程について ポストモダンにおける神学的視点	第五章 宣教に対するキリスト者の霊性 霊性の形態 キリスト教的霊性 霊性の形成 宣教師の霊性の特徴	注 あとがき
第二章 介入 —— 存在と宣言 触媒としての働き 対話的協力関係 バルーシアとしての存在	第六章 回心と社会的変革 —— 「力の行使」について 確信の後退	

翻訳：南野浩則（みなみの ひのり）：同志社大学（法学部政治学科）、福音聖書神学校、メノナイトブレザレン聖書神学校、アバディーン大学院（Ph.D. 旧約学）で学ぶ。現在、日本メノナイトブレザレン教団石橋キリスト教会牧師、福音聖書神学校教務、TMRI 理事。著訳書：『聖書を解釈するということ—神のこばを人の言語で読む』（いのちのことば社）、『十戒—シナイ契約・律法と山上の説教』（いのちのことば社）、エルマー・マーティンズ著『神のデザイナー—旧約聖書神学の試み』（福音聖書神学校出版局）、ベルンハルト・オット著『シャローム・神のプロジェクト』（いのちのことば社）他。

監修：西岡 義行（にしおか よしゆき）：東京聖書学院、アズサ・パシフィック大学、同大学院、フラートン学校（Ph.D. 比較文化論）で学ぶ。現在、東京聖書学院教頭、TMRI 総主事、東京基督教大学非常勤講師、日本ホーリネス教団川越のぞみ教会牧師。著訳書：“Worldview Methodology in Mission Theology” (Missiology, vol. 26)、D. ボッシュ著『宣教のパラダイム転換』（編集共訳／新教出版社）、『社会に開かれた教会』（共編著／いのちのことば社）、“A Creative Death Ritual: Receptor-Oriented Sense-Making in Japan.” In *Traditional Ritual as Christian Worship*. (Orbis Books) 他。

四六判・216頁・本体 1,600円 + 税
ISBN978-4-909871-71-8 C0016

発行：東京ミッション研究所 発売：ヨベル YOBEL Inc. 〒113-0033 東京都文京区本郷4-1-1 T 03-3818-4851 F 03-3818-4858

平和と希望をつくる子どもたち

マリア・モンテッソーリの教育

江島正子 著

医師、科学者、実証主義者であった教育者マリア・モンテッソーリによる「宇宙的秩序」に基づく生命の教育法を、長年モンテッソーリ教育に携わってきた著者が丁寧に説明する。実際の活動の解説も掲載。



◆ 訳者プロフィール
1940年生まれ、上智大学卒業後、イギリス・ロンドン大学、ドイツ・ケルン大学留学。Dr.Phil.星美学園短期大学助教授、関東学園大学教授を経て、現在、群馬医療福祉大学大学院教授。日本モンテッソーリ協会(学会)常任理事、東京支部長、学会誌『モンテッソーリ教育』編集委員長のほか、東京モンテッソーリ教育研究所附属教員養成コース、東京国際モンテッソーリ教師トレーニングセンター、学校法人白百合学園広島モンテッソーリ教員養成コース、長崎純心大学文学部純心モンテッソーリ教師養成コース等で講師を務める。著書に『モンテッソーリアンのこころ』(近代文芸社)、『モンテッソーリの人間形成』(関東学園大学)、『モンテッソーリ教育のこころ』『モンテッソーリの宗教教育』(以上、学苑社)、『たのしく育て子どもたち モンテッソーリ教育』『世界のモンテッソーリ教育』(以上、サンパウロ)、共訳書に『モンテッソーリの教育法 基礎理論』(以上、エンデルレ書店)、『子ども—社会—世界 モンテッソーリ教育法』『子どもが祈りはじめるとき モンテッソーリ宗教教育』(以上、ドン・ボスコ社)ほか多数。

◆ 推薦のことば 前之園幸一郎

生命の教育のはじまり

第一章 「宇宙的秩序」理論に基づく「宇宙的教育」(コスミック教育)

モンテッソーリの宇宙

宇宙的秩序の中の地球上の生物

コスミック理論における人間の位置づけ

人間の社会におけるコスミック(宇宙的)教育

第二章 幼児教育の中の宗教

宗教はどんな魂にも内在している

子どもの年齢にふさわしい内的成長プログラム

乳幼児期～感覚を育てる

児童期～新しい世界を開く

思春期～「平和」を意識する

第三章 モンテッソーリの宗教教育の実践

三歳から六歳児のための活動

(1)日常生活の練習

(2)静粛の練習

(3)たとえ話

「良い羊飼いのたとえ話」の活動

(4)「良い羊飼いの現存」

(5)「ミサ聖祭」

ミサの準備の活動

祭服(司祭の服)の準備の活動

(6)「神さま」を中心とした世界の歴史の提供

神さまを中心とした世界の歴史の理解

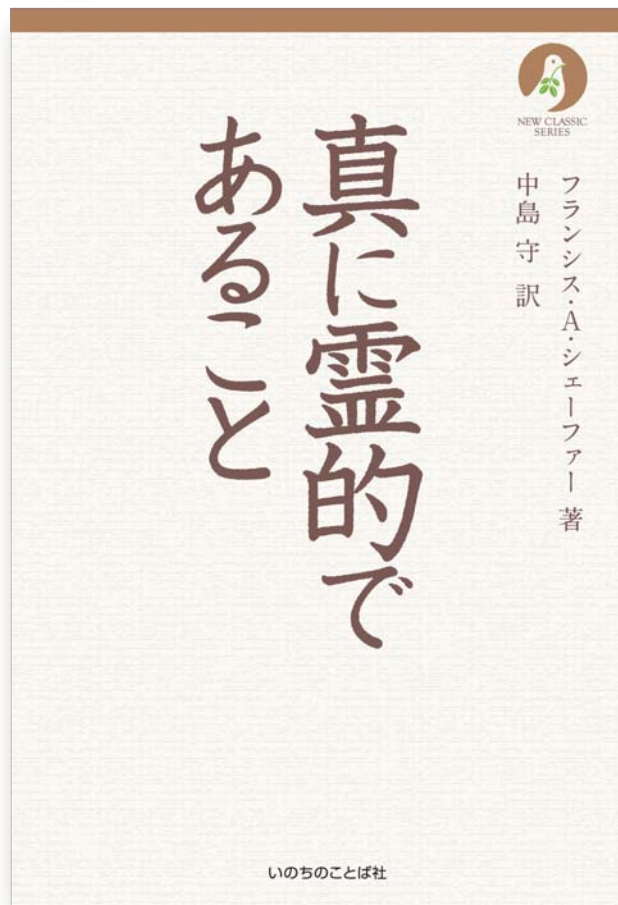
資料:提供者用の「神の国の歴史のガイドブック」

参考文献

あとがき 江島正子



信仰良書を読み継ぐ
ニュークラシック・シリーズ



真に霊的であること

フランシス・A・シェーファー 著
中島 守 訳

霊性の大切さや、霊的な生活とは何かについて語った本書。約半世紀前に発行された本ながら、そのメッセージの重要性は何ら変わらない。「霊的であることは、理論ではなく、実体である」と語る著者のことばは、闇が深まった現代に生きる信仰者に強く響いてくる。

1980年代に学生時代を過ごした私にとって、シェーファーはヒーローでした。「霊性」ということばを私が初めて意識したのも、本書を通してでした。

今回改めてこの本に目を通して気づくことは、「真の霊性」を求めるシェーファーの探求が、彼自身の「霊的危機」に始まるものであったことです。彼は、信仰の「実体(リアリティ)の問題」を根本的に考え直さなければならなくなりました。信仰の「リアリティ」とは、信仰の「現実味・実感」の問題であると言い換えることができます。私自身もこの問題に30代前半で直面しました。

西洋文明(そして神学的には自由主義や新正統主義)と対峙したシェーファーが語る「真の霊性」は、21世紀に生きるキリスト者にとって根源的なチャレンジであると思います。

『「霊性の神学」とは何か』著者 篠原明
『真に霊的であること』解説文より抜粋

四六判 320頁 定価2,200円(本体2,000円+税)
ISBN978-4-264-04364-5 C0016
いのちのことば社 卸コード 06610

伝道に最適！



B6判 64頁 1冊/定価110円(本体100円+税)
ISBN978-4-264-04353-9 C0016
いのちのことば社 卸コード 01000

ヨハネの福音書

イエス・キリストの生涯

『聖書 新改訳2017』のヨハネの福音書本文の全体を収録。
巻頭と巻末に解説を収録。聖書を読みたい人、キリスト教に興味をもっている人に気軽に渡せる小冊子。
ルビつき、並行箇所が付記された見出しつき。

【収録内容(目次)】

聖書とは／福音書とは／ヨハネの福音書本文／ヨハネの福音書とは

既刊類似商品と違う点

	サイズ	聖書本文	解説文
 『ヨハネの福音書 イエス・キリストの生涯』 単品 卸コード01000	B6判	聖書 新改訳2017	あり
 現在販売終了 「ヨハネの福音書 分冊 10冊セット」 卸コード45590	A6判	聖書 新改訳 第三版	なし